



今月の一笑 朝日川柳入選傑作選
子や孫でなくて会社が肩たたき (93.10)
政治より夏の天気期待かけ (94.5)
衣替えやせた気分が二三日 (94.6)
(小金井市/日月雅昭)

とにかく暑くてたまりません。

猛暑なんだから、もうしょうがない、なんて冗談も言えないくらいです。

夏ばてはしたことがない、と豪語していた人の中にも、相当参ってしまう人が出ているようにも聞いています。身体に気をつけて無理せず行きましょう。

さて今月の一笑は読者の日月雅昭さんの川柳です。日月は「たちもり」と読むそうで、るびが無ければ読めませんでした。朝日新聞の川柳コーナーの常連になっておられるとか。ますますのご活躍を期待しています。

期待をかけた夏の天気が予想以上で痩せすぎないように注意しなければなりませんね。

では、今月も読者の皆様からのおたより笑介から、参ります。



広島県/池元高夫

皆様にはますます御健勝のことと存じ上げます。伝笑鳩編集の御努力深く感謝致します。毎月皆様の笑景(情景)のお姿を思い浮かべて、拝読致しております。

川崎市/増田敦子

伝笑鳩を送っていただきましてありがとうございます。いつも、楽しく拝読し楽しい一時をもち、あとはただ感心するばかりです。伝笑鳩が飛んでくるようになってから、今までの楽しい笑いとは一味違って「頭の体操」的な笑いにも少々興味をもつ様になりました。当然、作品を生み出すことはできませんが、読売の「USO放送」や「時事川柳」などについて目がいってしまいます。それでは皆様のご活躍を、お祈りしております。

鳩ヶ谷市/郷内末吉

「伝笑鳩」No.57拝受。ありがとうございました。今月の一笑(注。門口泰宣週刊読売『玉手筥』投稿)一番よかった。中国帰りで益々の活躍が待たれます。

千葉市/近藤創吾

大阪から転居して2年6ヶ月。何とか土地にも馴れて一息と言うところですが、言葉の壁は如何ともならず、開き直って「暑まんなゝ」「どないしょ」とやって居ります。『伝笑鳩』も関西からの投稿には格別の親しみを覚えて愛読させて頂いて居る次第であります。傑作が発信されることを願望します。

川柳 ◆優勝の汗がマイクへよく喋る ◆洗濯へ出そうか冴えぬ知恵袋



[ある時は笑い、ある時は真面目に。去年は冷夏、今年は猛暑・水不足、耐えつつ対応していかねば!]

日々是反省 素直な気持ちがもたらすものは限り無く多い

— 黒田弘 活動短信「ちゃんねる96★」No.58から

人の振り見てわか振り直せ — とは子供のころから覚えていた。最近は一としたことがある。これまで得手として「率直に言って」をよく使っていた。羽田首相が誕生、首相もよく使うと思った。意図か口癖かわからないがとにかく使う。〈率直に語りかけて行きたい〉〈率直に議論していただきたい〉これはよいが失礼ながら意味不明と思われる節もある。〈細川総理は率直にお辞めになった〉これは「素直に」でないだろうか？ ついには閣僚にまで伝染してしまった。乱用気味であり「率直に断りたい」。これまで本信でも重宝して来た言葉であり今後ゼロではないが〈腹藏なく〉〈本心として〉〈真心込めた気持ちとして〉などに置きかえ、「わが振り直して行きたい」。

これとは別に仕事から話を多くする立場の人が間合を「あれ えー まあ」などで継ぐ人もおり「率直に、否、腹藏なく」これも断りたい —。 (H6. 6. 23)

〔黒田さんは帯広市議会副議長という要職に就かれていますが、新聞記事でジョークサロンを知り読者となって頂いております。活動短信「ちゃんねる96★」には伝笑鳩の作品も時折、掲載されていますが、今回は同氏のコラムを転載させて頂きました。羽田首相の言葉を聞く機会が少なくなったのは、残念ですが、我々も注意したい言葉遣いの難しさに関するコラムには笑いつつも考えさせられましたね〕

— 広川友雄 ダジャレ発

☆ボクシング。1R (ワン・ラウンド) でKO勝ちで、嬉しくて皆笑うんど。
☆プロ野球。タマに頭に来るから、ホントに頭に来るぜ。(危険球で退場処分)
☆「オンドリャ、叩き切るぞ!」「で、如何なされます、メンドリの方は?」
☆「なかなか鯛はつれませんねー」「ウン、じれっタイよなあ」
☆「セミって、時々うるさく感じない? どうしてあんなにうるさいんだろうね?」
「ウン、カンマ、コロン、セミコロンとセミコ論してるんじゃないの」



〔毎月、カンパ共々ダジャレが送られてきます。ダジャレを考えるのも疲れるものですが、今後も沢山送って貰いたいと思います。カンパにも感謝致しております〕

— 神代京子 今日もどこかで・・・

★梅雨の晴れ間のお昼休み、外出先から戻ってきたO氏、なにやら興奮して嬉しそう…。

O氏 「大きなネズミが足元を駆けぬけていったよ。よほど火急(カチュー)の用があったんだね」

O女史 「ご注進(チュウシン)! ご注進(チュウシン)!」

久し振りの青空に人もネズミもウキウキします。

★最近、太り気味を気にしているO女史…ロッカー室での怪(?)

O女史 「今夜は、大極拳の総会があるの」

T女史 「エッ! 体重計の総会!?!」

O女史 「ムッ! ………………」

悩みは深刻です。



当世とりかえばや物語・第2話



湘南ナンバー／前田 誠
(神奈川県改め)

第1話はちょうど一年前でした。物ごと勤ちがいなさる方どうございますが、むしろそれがよろしい場合もあり、世の中とはおかしなものでございますね。では……

◇妻を娶らば埼玉県

確かに、あいつは自他ともに認める愛妻家には違いない。しかし何かと言えば、自分の生まれた埼玉の女は良いぞ、とくるからやり切れない。

◇三度目の掃除機



「居候、四角な部屋を丸く掃く…」の川柳を地で行くのが、倅のアパートだ。行くたびに女房と一緒に掃除させられ、正直に言ってうんざりする。もう、これで何度目になると聞いたら、女房が掃除機を止めていわく「三度目よ!」

◇産もう布団

羽毛布団は、軽くて保温性や吸湿性に優れているので、お年寄りや病人に評判が良い。特に産婦人科では好んで使われているとの噂を、誰か聞いたことはありません?

◇男は読経

椅子の生活が当たり前になって、男ばかりか女でさえも正座を長く続けられなくなった。困るのが法事である。泰然としてお勤めを終えたお坊様に、その秘訣をたずねたところ、ズバリ一言「男は読経」。集中心と信心がないとだめらしい。

◇シッター 激励

昔は女中とか子守とかは、辛い奉公だった。近頃では、お手伝いさんに文句を言おうものならすぐバイバイされてしまう。まあ、やんわりと励ますことにするか。

ダジャレ和英折衷語

門口泰宣

折衷新語	〔意味デス〕
地縁ストア	〔各地にあります〕
移民グレーション	〔パスポートを見せます〕
離退アーメント	〔会社よさらば〕
離縁ジニアリング	〔バツイチで出直し〕
マルチ芽出イア	〔いつ花開くか〕
ワールド割賦	〔世界銀行への返済方法〕
ホワイト過労	〔働きすぎです〕
あたふたファイブ	〔縄のれんに直行〕



〔相変わらず元気で好調な二人です。良いことだと、思います〕

奥村篤史

アッシー君だよ

1. タワゴトロジー・ショート・トーク

- *「何票よう?」「一票よ」—— 南極海聖域案 反対票は日本のみ
- *世界は一つ、親類はみな競艇 —— 笹川一族
- *負傷も不勝も不賞も不承です —— 手術で再起 横綱曙
- *猛け藪の虎 —— タイガース藪投手月間MVP
- *Jリーグ杯破損:「割ーどカップ」に参加できました —— サンフレッチェ広島
- *宝籤 夫婦の会話:夫「ジャンボ籤を買ったが、又外れてしまった。でも俺には君という
当たり籤を引いたからいいさ」
妻「私はとんだ貧乏籤ひいたわ」
- *「大枚のボーナス支給」と聞いたが、「タイ米のボーナス支給だった」 —— 米屋の店員



2. ダジャレ川柳

- *カップ割り “割ーどカップ” 初参加
- *平安の遷都1000と200年

曾田英夫

狂歌NEW門

- ◎祈っても当たらなかった宝くじ ドリームジャンボ現実ビンボー
- ◎雨の日に通勤電車の網棚へ かばん載せたら水しぶき散る
- ◎文春の販売拒否したJR 乗せる会社が挑発に乗る
- ◎死亡例隠すつもりのかん口令 漏れて社員が自社株売り抜く
- ◎死亡例会社は隠すかん口令 社員株売る日本不商事



高木正明

コミックどどいつ

1. 国会会期にようやく予算 通った期末はもう末期 [羽田内閣]
2. 揺れる与党を揺さぶる野党 そのまた野党を割る派閥
3. 笹川罪団ファミリー資配 ボート陣類皆な強大
4. 先か読めない経済企画 上向き下向きソッポ向き
5. 売手市場が買い手に移り 賃下げ据え置き初忍給
6. 見せる見せない隠せば見たい 話題のヘアと北の核
7. 不況知らずの吉本のれん 笑売繁盛銀座店
8. 金に眩んだ出張ホスト 逆に出超色と欲
9. 浮気封じに携帯電話 付けたファンドシ若夫婦
10. コンピュータにはウィルス移り 人にエイズやバクテリア
11. 少子化対策有子に融資 子作り上手に出す子金
12. カズは出て行くジーコは辞める どうでも高ぶるサポーター



石井志津夫 メッセ貝は笑う

☆コメ騒動終息

米（マイ）ペースで良かった

—— 食糧庁



☆サッカーくじ論争

くじで決めたら

—— くじマニア

☆ムシ歯予防デー

かなり抜けたなー

—— 旧連立与党



☆入札ゼロ

談合してほしい

—— ホテル・ニュージャパン

川柳 「穏やか」

◇穏やかな人の一喝身にこたえ

◇人柄の良さを買われて二度の職

◇穏やかに話せばわかる事でもめ

小川義忠 ジョークをどう創るか（その2）

関西の名コンビと言われた漫才の蝶々・雄二があった。亡くなられた雄二さんという人、もとは蝶々さんの付き人・マネージャーだった。ところがある時、二人で漫才をやらなければならぬというハメになってしまった。素人の雄二さんがベテランの蝶々さんの相方をやらなければならぬというのだ。

「あんた、横に立ってうなづいてればいいから、とにかくやろう」

「いや、漫才なんて、ド素人ができるものではありません」

と何度も雄二さんは辞退してみたが、結局横にいて合の手を入れていけばいい、ということになった。

いよいよ来週本番をやらなければいけないということになって、どういう訓練を急遽はじめたかという、一方的に喋ってくるラジオに向かってひたすら合の手を入れた。

ラジオが

「お早うございます」と喋ったら、「はい、お早うございます」と答える。

「七時のニュースです」「あ、どんなことがありました」

「はじめは、外電です」「どこの？」

と、これを一週間、朝から晩までやったという。

そんな特訓の後、蝶々さんの相手をつとめ、やがて名コンビになっていく。

その場を面白くするには反射神経の訓練も必要だ。



① やったぜ広島サンフレッチェ カーブの不振を蹴っ飛ばせ。〔サッカーだから、蹴る！〕

② 勝てば監督、名監督 負けりゃドアホ、ボロ監督。〔いわゆるひとつの勝ちパターン〕

③ 講演会「あ！、それは頂き」自分に都合のいいところ。〔自分の事は悪くは言えない〕

〔石井さんの紹介で入会された小川さんも、徐々にサロンの雰囲気慣れてきたようです。2回続いたジョークをどう創るかの効果が、これから現れることでしょう〕

6月22日定期例会出席者

石井志津夫・小川義忠・奥村篤史・小田明子・曾田英夫・高木正明・豊田洋代・野本浩一・前田誠・門口泰宣

- # 1. 久しぶりに十人揃いました。やはり少人数よりは多人数の方が楽しいですから。
- # 2. 平日の夜なので女性の参加がなかなか難しい — というのが課題ですが、今回は二人の参加があり、笑いも盛り上がりました。良かった。

最後は又お便りを紹介します。

河内長野市/山下貞子

梅雨の合間に真夏日の厳しい日差しが感じられる頃となりました。伝笑鳩7月号、楽しく拝見致しました。有り難うございました。私の便りを一面に見ました時は、少し恥ずかしい様な気持ちでございました。「大阪学」の著者名は大岩ではなく、大谷晃一教授です。日経新聞に数回広告が出ております。よろしかったら御一読下さいませ。

[失礼しました。又、山下さんからは故山下塾鳥の愛読書の一部、笑いが一杯詰まった書籍を送付して頂きました。会員で輪読したいと思えます。ありがとうございました]

大阪おしゃれユーモア笑学校レポート サイカクNo.10 大阪学の一部が披露されてます

大阪のイメージ・せっかち、がめつい、こてこて、ガサガサ、歩速1.6、東京1.56、鹿兒島1.33メートル、ティッシュ配っている人の段ボールから山盛り取っていく人がいた — 大阪学・大谷晃一



[面白い事、儲かる事、けったいな事、とにかく何でも一番最初にやるような所というイメージも大阪に対してはあるようですが、如何でしょうか]

NEWS
北東西南

- 1. 8月例会 8月26日(金) 内神田社会教育館8F集会室
18時30分~ 都合により金曜日です。
- 2. 封筒の宛名の部分に (~'94/9)とあるのは皆さんから送付して頂いている切手が有効な年月を示しています。参考にして下さい。
- 3. お便り&切手の送付先 〒158 世田谷区深沢7-5-13-305 野本宛
切手は一年分80円×15枚です。



伝笑鳩No.58

発行 1994.7.27
 変集鳥 野本浩一
 変集協力 曾田英夫/石井志津夫
 奥村篤史/高木正明
 門口泰宣/前田誠
 発行所 同巢会ジョークサロン



切手・カンパ受領一覧(敬称略)

1994.6.16 ~1994.7.19

宇都宮市/辺見幸恵、広島県三次市/池元高夫
 港区/古沢清久・田中澄枝、江東区/池田好子
 川崎市/増田敦子、横浜市/天野秀雄
 京都市/広川友雄、戸田市/長井敏
 ありがとうございます。